


The international Association of Y's Men's Clubs Japan West Region  
Rokkoku District 2025-2026



# The Y's Men's International

ワイズメンズクラブ

国際協会西日本区  
六甲部

2025-2026 部報  
第2号



## 2025-2026 年 六甲部部報 第 2 号

発行日 2026 年 6 月 1 日

### 2025-2026 年度 部長方針・活動計画

#### 1. 部長主題

温故知新 *Visiting Old, Learning New!*

六甲部にウェルビーイング *We Rokkoku aims for Wellbeing!*

#### 2. 活動方針

1) 次世代へつなぐ六甲部 *Connecting Next Generation from Rokkoku!*

2) 神戸 YMCA に繋がる「一人ひとりが幸せに生きるために」六甲部の神戸、西宮、神戸西、神戸ポート、宝塚、神戸学園都市、芦屋のセクラブが、サービスクラブとして其々のタレントに応じて、活動する。

3) 各クラブとも、其々の歴史と特徴を持っているが、その歴史の積み上げから、次世代に何をつなげていくことができるのかを検討・試行し、六甲部全体へ拡げる。

4) 各クラブとも高齢化が進んでいるが、これを否定的に捉えるのではなく肯定的に捉え、これだけの高齢者が生き生きと活動しているクラブとして、地域社会へ訴え活動を拡げる。

#### 3. 活動計画

1) 六甲部全体、各クラブの、組織、会員、地域社会等のウェルビーイングに取り組む。

2) Y サ・ユース事業を強化する。(YYY フォーラム、絵本贈呈事業)

3) 地域奉仕・環境事業を継続支援する。(きらりと輝くアート展、SDGs)

4) EMC 事業を継続強化する。(EMC シンポジウム、ユースに広げる EMC 活動)

5) メネットの役割を再考する。(絵本贈呈事業、メネットシンポジウム等)

6) 広報・デジタル媒体を強化する。(各クラブのウェルビーイングを目指し、見える化を進める)

六甲部 部活動報告

部長 柳敏晴（神戸西クラブ）

地域、YMCA、各クラブ、会員、其々がウエルビーイングになる部運営を心掛けました。十分とは言えませんが、各事業、各クラブが新たな試みに挑戦し、幾つかの成果が出てきています。ワイズに繋がる人々が、幸せになれるようにと活動を続けています。

次世代に繋ぐ六甲部をテーマに、七クラブが地域のサービスクラブとして、独自の活動を進めています。各クラブが持つ歴史と特徴を生かしつつ、部全体に如何に広げられるか、どう協働できるかが課題と考えています。

7月19日第1回評議会終了後、六甲部懇親会兼第28回西日本区大会お疲れ様会を開催しました。ワンキャンプ支援、ラオスにYMCAをのオークションで、9万円を超える献金ができ、小澤総主事にお渡ししました。

EMC シンポジウムでは、100余名の参加者が久保田主任の素晴らしい講演で、会員のV字回復に、クラブを挙げて取組む意欲を与えられました。

また、国際・交流事業との合同会議に繋がり、事業を超えた話し合いの意義と成果を次年度に引き継ぎました。

「蘇った神戸で Y's のウエルビーイングを！」のテーマで部会を実施し、東日本区からの参加もあり、盛会に終えることができました。

Yサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業、EMC事業、国際・交流事業の各事業は、其々着実な活動を続けています。

チャリティーランでは、自動計測装置の導入、屋台の復活と、次年度へさらなる展開の可能性を持つことができました。

YYY フォーラムで、他団体も含め65名の参加者が、居場所の意味を共に考えられました。次世代への繋がりを、さらに深めることができたと考えています。

「きらりと輝くアート展」を原田の森美術館で開催できたことは、障碍を持つ人々が社会と

繋がりを持てるようにとの意図が、広がる喜びを覚えました。

第2回評議会で、部則改訂は、部則検討委員会が原案作成し、次年度に委ねるとしました。部則は、六甲部運営の基本ですが、運用上の細かな改定が続き、語句の重複や解りにくい部分が見受けられましたので、第1回役員会で、部則検討委員会（小野勅紘、井出浩、大田厚三郎、井高好貴、柳敏晴）に依頼をし、原案作成、各クラブで検討、進めました。要は、ボランティア団体のワイズメンズクラブが、円滑でウエルビーイングな運営を進める解り易い指針だと考えます。

Yサ・ユース事業がメネット委員会の意志を受け継ぎ、絵本贈呈プロジェクトを実施できたのは、大きな喜びで、次年度以降にも繋ぎたいと考えます。

六甲部七クラブ会員120余名は、神戸YMCAと共に、地域の、日本の、世界のウエルビーイングを目指す、歩みを続けられています。

『、、みなのものが一つとなって、ワイズダムの“きづな”をより強く結び、ともどもYMCA運動へ仕えることを願うものです。』

Yサ・ユース事業 主査 杉本隆人  
(神戸学園都市クラブ)

「絵本プロジェクト」は、メネット委員会からYサ・ユース事業にバトンタッチし、YMCA保育園で絵本の贈呈式を行いました。今年度対象となった施設は5ヶ所、YMCA保育園、YMCA保育園おひさま分園、西神戸YMCA保育園、YMCAおひさま、神戸学園都市YMCAこども園となり、代表としてYMCA保育園にて贈呈式を行いました。

5月15日（金）西神戸YMCA学園都市に集合し、達氏の先導でYMCA保育園に向いました。到着後ブリーフィングを水島さんが行い、式場へ移動。式場には、すでに園児たちが座ってお

り、賑やかに盛り上がっていました。簡単に我々の自己紹介を済ませて、絵本の贈呈を柳部長より園児たちにした後、大野智恵ワイズの絵本の読み聞かせを園児たちにしました。とても熱心に聞き入っていたのが印象的でした。その後、園児たちの感想とお礼があり、贈呈式は、無事終了しました。最後に園児たちとともに集合写真を撮りました。

出席者：三島浩司、藤田良祐、達直樹、水島弘恵、柳敏晴、濱崎進一、大野智恵、上田一郎、杉本隆人



地域奉仕・環境事業 主査 福原吉孝

(芦屋クラブ)

A) 「きらりと輝くアート展」を開催した。

各施設からの展示作品も絵画、粘土、貼り絵等、多岐に渡り 100 作品となり、多数の作品の盛大な展示会となった。

日時：3月27,28,29日、開催場所：原田の森ギャラリー

地域奉仕・環境事業として各クラブ実行委員の

協力のもと、多数の入場者を迎え盛大な会となったのは大きな喜びであった。

この「きらりと輝くアート展」は、六甲部として取り組んでいる大切な事業であり、次年度に向けて継続事業として実施すべく次期CS主査へ申し送り事項とした。

各クラブの会長・事業委員が実行委員となり活躍した事が大きな成功要因であった。

実行委員長として宝塚クラブ金岡幸宏ワイズのリーダーシップの元、各クラブ実行委員が結束し、多大な働きに対して大いに感謝しておきたい。

B) 各クラブからのCS活動の報告

1) ポートクラブより報告：会長幸田兵衛 CS担当山田滋己 能登半島被災地支援「炊き出し 輪島市町野町にて」餅つき、ワイワイ喫茶&歌声広場 2025年12月30日(火) 輪島市石巻広域クラブ、東京ムカデクラブ、神戸ポートクラブで共催

2) 宝塚クラブ：会長CS担当多胡葉子 第21回市民クリスマス「みんなでつくる One Christmas」障害者によるベル演奏 一般市民コーラス、関学フラ・・・等の出演 12月13日(土) 於宝塚ベガホール

3) 芦屋クラブ：会長田辺征一 CS担当上野恭男 芦屋市民祭り「さくら祭り」に出店しチヂミ焼き販売を実施、みどり作業所と共に、地域奉仕と交流活動を行った。

EMC 事業主査 北島伸三

(神戸ポートクラブ)

事業標語は「とにかくメンバーを増やそう！」です。就任以降印象深かった二つを挙げたいと思います。一つ目は11月15日神戸クラウンパレスホテルで行われた六甲部部会の開始前のEMC事業シンポジウムです。講師に西日本区EMC事業主任の久保田雅彦様(京都グローバルクラブ)をお招きし、表題を「クラブの魅力」と「メンバーの満足度」を高めることが会員増強の鍵!!とし、データ表示を駆使して熱く語っ

て頂きました。シンポジウムに向けて何度も久保田様やホスト神戸西クラブの方々とは接点を取り合い、内容や進め方等を決めていきました。当日は司会・進行役を務め充実した気分で終える事が出来ました。二つ目は、柳部長提案の2月14日六甲部 EMC&交流合同企画会議です。その会議では各クラブの現状や会員を増やすにはどうすればいいか、会員を増やす事だけに目を向けるのではなく、退会する会員を少なくする事にも目を向けないといけない、クラブ独自の力で出来ない事も多くのクラブや事業が協力、支え合う事が大切だと話し合われました。残り少なくなってきましたが、今まで多くの方々の協力・アドバイス等ありがとうございます。

イス時計、ワイン等気分も最高潮で次々と競り落とされ大盛況でした。

一番盛り上がったのはオークショニアの岡野泰和ワイズ（宝塚）が提供したラオスビールを何とお店のスタッフが2本買って下さった事です！ビアホールで持ち込みビールを販売して注意されるのかとギクッとしたら「あの～、私も買っていいですか？ビールに目がなくて」とのコメントで大爆笑でした。お陰で50分足らずの短時間で9万円を超える献金ができその場で小澤総主事にお渡しする事が出来ました。

楽しくなければワイズじゃない！まさにキックオフ早々実感できた時間でした。



国際・交流事業 主査 石田由美子  
(宝塚クラブ)

2025年7月19日(土)、第1回評議会終了後会場をニューミュンヘン神戸大使館に移し17時から六甲部懇親会と第28回西日本区大会お疲れ様会が55名の参加で開催されました。

柳敏晴六甲部部長からの感謝の言葉、小澤昌甲総主事のご挨拶に続き高らかに乾杯！ビールとソーセージ等、そして本場ドイツのビアホールの雰囲気開始早々の賑わいです。宴もたけなわ、今年のお楽しみ企画は神戸 YMCA ワンキャンプ支援のためのチャリティーオークションです。高級レディース、メンズ下着、ス

メネット委員会 委員長 濱崎進一 (西宮クラブ)

「絵本プロジェクト事業」として、神戸 YMCA の関連施設(5か所)へ絵本を贈呈した。(注)令和8年5月に実施します。報告時期4月で未実施です。「ベルマーク事業」ベルマークの収集活動。各クラブにベルマークの収集をアピール。両事業とも Y サ・ユース事業が主体とし、

メネット委員は補佐を担い、事業プログラムを協働しました。

広報委員会 委員長 尾上尚  
(神戸クラブ)

例会案内を、定期的に発信しました。

神戸クラブ 会長 山根泉

会長主題：楽しく、幅広く、継続的な奉仕活動を、ユースとともに

私にとって2回目の会長任期をまもなく終えようとしています。思えば前回 2020-2021 期の会長期は世界中を震撼させたコロナと一緒に駆け抜けた慌ただしい一年でした。会食や握手を交わすこともなく、遂には大切な仲間がコロナに命を奪われるという悲しみを体験しました。今期はこの経験を払拭し、ワイズの原点を見つめ直し、奉仕と友好を柱として、ユースに寄り添うクラブライフを目指す一年でした。

まずは、第一例会での会食の復活を手掛け、和んだ雰囲気で開催を迎えました。8月にはタイチェーンマイクラブのメンバー6名が来神しIBC交流を楽しみ、世界に繋がるワイズを体感しました。クリスマス特別例会は阪急三宮駅(地上29階)のレストランに79名が集い盛会でした。山海の夜景を同時に楽しめる神戸らしい例会でした。2月には久しぶりのピンクシャツデー例会を持ち、いじめ撲滅を願い気持ちを皆で合わせました。今期は2名の新入会があり、さらに2名が入会に向けてゲスト参加して



2月例会ピンクシャツデー

います。ワイズの高齢化、会員数減少化が課題になっていますが、少しばかり逆の方向にハンドリングできた一年だったかなと振り返っています。

西宮クラブ 会長 小野勅紘  
会長主題：

神戸西クラブ 会長 大田厚三郎

会長主題：思いを一つに、共に成長しよう  
本年度は、当クラブから六甲部長に柳敏晴ワイズが選任されたのを受けてクラブ全員で支援することを主な活動に位置づけ、評議会、六甲部部会の開催に取り組んだ。2026年2月に特別公開例会「『愛された体験』が少年を変える」(野口善國弁護士・会員)を開催し、40余名の出席者があった。3月 スピーチ「家庭養護促進協会の働きについて」(米沢晋子同協会事務局) 4月 スピーチ「神戸いのちの電話の働きについて」(福井康代事務局長) 特記事項：国内DBC「ヘキサゴン(西連合)」との連携。



神戸ポートクラブ 会長 幸田兵衛

会長主題：Something New を求めて  
入会3年目で会長を拝命して以来、早くも約10カ月が経過いたしました。この間、奉仕活動や交流活動、講演会への参加を通して多くの学びと気づきを得ることができました。クラブでの経験は私自身の視野を広げ、仕事においても新たな発想や柔軟な視点をもたらしてくれて

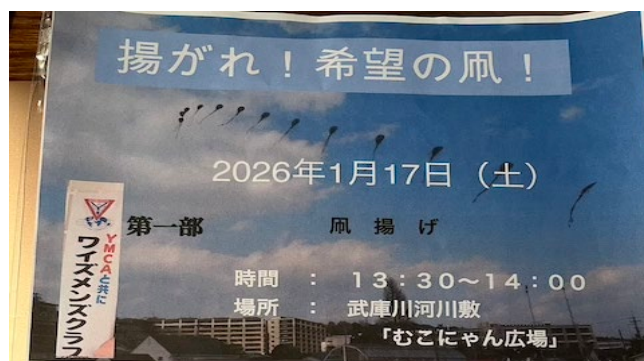
います。こうして務めを果たしてこられましたのも、メンバーの皆様の温かいご協力と、先輩方の丁寧なご指導のおかげであり、深く感謝申し上げます。私が掲げてまいりました会長主題「Something New を求めて」は、決して新しいことだけを追い求めるものではありません。「古きを訪ねて新しきを知る」という姿勢を大切に、神戸ポートクラブがこれまで築いてきた伝統と歴史を学び、受け継ぎながら、その上に自分なりの小さな工夫や新しい価値を加えたいという思いを込めたものです。さらに、YMCA と共に歩むという原点の大切さも改めて感じております。時代の変化により、かつてのような密接な関係を築くことは容易ではありませんが、意識的に関わりを持ち続け、今後も連携を深めながら、クラブの歩みを着実に進めてまいります。引き続きご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

能登被災支援チャリティーコンサート（2026年4月25日、神戸聖愛教会礼拝堂）



### 宝塚クラブ 会長 多胡葉子

「地域でみつける！つながる！ワイズ活動」の主題を掲げて毎月の例会に地域で活動されている方々から活動の紹介をしていただき交流をしてきた。そして引続き後半の1月からの例会もその趣旨で実施中。後半の1月と3月には毎年実施されている地域のグループとの交流が例会以外の活動として実施。1月は宝塚クラブが関わっているはんしん自立の家と共同で毎年実施している震災支援プログラム、「揚れ！希望の凧！」は、今年は紙芝居グループや、フラグループもプログラムに参加して下さって、入居者の方々と共に実施。



3月は宝塚市立国際交流センターで国際協力フェスタ(NGO展)に参加し市民の方々にワイズの活動を紹介し、市内のNGOグループとの交流を実施。宝塚クラブには独自のメンバーとして登録していただいているアソシエイトというメンバーがおられる。活動をするたびにアソシエイトのメンバーの協力はクラブにとって大きな支えになっている。ファンド事業はもちろんのこと、今年は3月の末に六甲部主催でき

らりと輝くアート展が実施されたが、その活動にアソシエイトの方々による協力は欠かせない存在であった。

神戸学園都市クラブ 会長 柴田昌一

会長主題：

芦屋クラブ 会長 田辺征一

会長主題：クラブを愛し楽しみ仕える

例会活動：

7月 柳部長公式訪問と島田ワイズのスピーチ。みどり作業福祉施設への献金贈呈。ゲスト・ビジター10名

8月 イタリアンレストランでの納涼例会と音楽。ゲスト・ビジター10名

9月 小澤昌申総主事の卓話

「Vision2030に向けたワイズとの共同・協業」

10月 朝日新聞大阪工場見学ツアー

11月 浅野純一ワイズ(西宮ク)卓話「イギリス王室と日本の皇室」ゲスト・ビジター5名

12月 クリスマス例会 クリスマス礼拝とカントリー音楽で祝宴 ゲスト・ビジター72名

1月 新春放談会 ゲスト1名

2月 YMCA 語学留学生との交流会実施、芦屋市民センター、参加学生19名

井島担当主事の司会ゲームなどで交流。

18回目の継続事業、今年はコロナ禍以来のポトラックで会食して歓迎した。

3月 フレイル予防チェアエクササイズ 講師：草山美佐子さん(1億人元気運動協会) ビジター1名



4月 芦屋市さくらまつりに出店 チヂミ焼き販売 他クラブから応援ビジター多数

5月予定 加茂周治ワイズ(神戸西)卓話 「旧満州終戦前後と引き揚げ」

6月予定 1年を振り返り、次期活動を考える。

第27回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーラン 2025

実行委員長 田代雅彦(神戸ポートクラブ)

2025年11月23日、神戸しあわせの村に於いて第27回神戸 YMCA インターナショナル・チャリティーランが開催されました。大会当日は好天に恵まれて、計画したイベントが予定通りに事故無く開催することが出来ました。秋晴れの中、参加者の方も運営に携わっていただいた方も気持ち良く、そして盛り上りの中で過ごしていただけたと思います。

今年も多くの子供たちが楽しそうに賑やかに参加してくれたのは何にも増しての収穫で、その姿に沢山の元気をもらいました。大会の特長である「子どもたちの成長を心から願って共に走る」が将来にわたって引き継がれていくことを強く期待するものです。

今回は参加者をさらに増やすため、特に1/10マラソンにおいてWeb(RUNET)を活用したランナー募集とタイム測定の専門業者を導入して競技会としての体制整備を行いました。そしてYMCA 会員増強委員会とも連携して他イベントへ赴いて積極的にチャリティーラン参加者募集チラシを配布して勧誘に努めました。また、大会の盛上げと魅力アップの為に、暫く休止していた飲食ブースをワイズメンズクラブ六甲部の皆さんとYMCA事務局により再開しました。参加者やご家族の皆様にご好評で予定数を早々と完売することが出来ました。今後に向けて飲食ブースをさらに充実していく意向を六甲部やYMCAの多くの方が持たれていることを頼もしく感じています。

出場者は1/10マラソン40名、1.2kmウォーキング172名(個人12名・グループ46組)、

1/100 マラソン 122 名、計 334 名参加（複数種目参加の方もいますので延べ数です）で、これにより大会収支は、参加費や個人及び団体からの協賛金により収入合計が 817,915 円、諸経費の支出合計が 611,419 円となり、収支差 206,496 円の収益（支援金）を得ることができました。

今大会も「あなたが走るとハッピーになる子供たちが増えます。」を旗印にして、YMCA 職員・リーダー・ボランティア・ワイズ・応援の方を合わせると 500 名近い方々が今回のチャリティランに関わっていただきました。準備から当日にわたり色々と皆様のご協力をいただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



晴天天下での集合写真

YYY フォーラム 実行委員長 杉本隆人（神戸学園都市クラブ）

「きらりと輝くアート展」実行委員長 金岡幸宏（宝塚クラブ）

2026 年 3 月 27 日～29 日の 3 日間、兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリーにて、主題の展覧会を開催いたしました。

この取り組みは「障がいのある方に作品を発表できる場を提供しよう、少しでも社会と繋がりをもてるようお手伝いをしよう。」という思いで始められたワイズメンズクラブ六甲部の CS 継続事業です。今回は、六甲部各クラブの関係する 14 の福祉事業所を通じて、49 名の出展者の方々から、全部で 130 点を超える、すばらしい作品の数々を展示することができました。

どの作品も非常に素晴らしい力作で、水彩画・陶芸・織物・写真・デジタルイラスト・木工・手芸・書道・3D ハンドクラフト・絵手紙・えんぴつ画・立体貼り絵・立体紙作品等々さまざまなジャンルが揃い、微笑ましい作品から、とてもレベルの高い作品も多く来場者に感銘を与える事が出来ました。出展者の皆さんからも、この様な素晴らしい会場に出展できてありがたかったとの声をいただいております、何より良かったのは、出展者のご家族と一緒に見えになり作品の前で写真を撮られていた微笑まし



1.2K ウォーキング 仮装チームゴール！



1/10 マラソン 大野ワイズゴール

い姿が印象として残りました。このような場を提供できた事が、我々の想いを実現できたと感じています。

運営の面では、実行委員会のメンバーが会合を重ね、作品募集から、六甲部の各7クラブが互いに協力しながら、展示・受付・搬出まで一丸となって進める事ができました。一方来場者の集客については大変苦勞をしましたが、新聞社やFM局、県庁、社会福祉センター等へのPRに加え、急遽サブイベントとして宝塚クラブの例会にお世話になった「紙芝居サークルちょうちょ」さんによる「出前／紙芝居」を中日に2回の講演を実施し、皆さんなつかしく聞きながら、笑いながら、参加型で楽しい時間を過ごしていただくこともできました。来場者の中には、次回は是非出展させて貰いたいとの要望もいただいています。最終的には3日間で、延べ300名のご来場を頂き、来場いただいた方々、また、出展いただいた方々からも高い評価を得ることができました。

次年度も開催すべく、本展覧会の記録としてユーチューブにて「きらりと輝くアート展」のビデオ掲載も限定公開で掲載しています。今後とも、六甲部の文化面での、長く続く事業として回を重ねていきたいと思ひます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Hxue3teOQhk>



2026年3月27日(金)~29日(日)  
10:00~17:00 (最終日は15時閉場)



【サブイベント】  
紙芝居サークルちょうちょ さんの  
出前／紙芝居を開催します。  
3月28日(土)  
10:30/15:00の2回  
(各1回5分)

是非お越し下さい

■ 会場 ■ 兵庫県立美術館王子分館  
原田の森ギャラリー 東館 2階展示室  
兵庫県神戸市灘区原田通3-8-30

この布告欄は「原田の森」の各フロアに作品を展示できる場を提供し、少しでも来場者が増えるよう努めます。上記の通り、詳細は原田の森ギャラリーのホームページをご覧ください。

■ 主催・連絡・お問い合わせ ■ ワイズメンクラブ西日本区六甲部  
地域奉仕・福祉事業課 岡部 吉幸 電話 078-8330-3942





第2回評議会に向けて改定を目指したい。』(提案者：小野勅紘)

話し合いの後、今後、部則の検討会を開き、内容について改訂作業を進めていくことが確認された。

(以上 決議)

## 2. 六甲部 2025～2026 年度 第2回評議会報告

日時 2026年3月14日(土) 14:00～16:30

場所 神戸 YMCA2階チャペル

参加者 出席43名、委任状15名

(1) 2024～2025年度 六甲部部長中間報告

(2) 2025～2026年度 主査・委員長活動中間報告

(3) 2025～2026年度 クラブ会長活動方針・計画の件

(4) 議案審議

① 第1号議案 『六甲部部則の見直しについて』(提案者：柳敏晴)

- ・六甲部部則は、評議会後各クラブに持ち帰り、再度各クラブで検討し修正案等を部則検討委員会に提出、検討委員会でまとめる。後日拡大役員会を開催し、原案作成を行い、次期六甲部評議会に議案提出し、審議する。
- ・輪番として、次々期六甲部長候補は芦屋クラブとなる。

- ・西日本区ではYサ、ユース事業を二つに分けるが、六甲部としては追従することはないので、「Yサ・ユース事業」を一つとし、事業主任は1名で両事業を兼任する。

(以上 決議)

部評議会 書記 岡山泰典(神戸西クラブ)

## 1. 六甲部 2025～2026 年度 第1回評議会報告

日時 2025年7月19日(土) 14:00～16:00

場所 神戸 YMCA2階チャペル

参加者 出席47名(2名が遅刻で議決権無しを含む)、委任状31名

(1) 2024～2025年度 部長・会計・監査報告の件

(2) 2025～2026年度 部長方針・活動計画・会計の件

(3) 2025～2026年度 主査・委員長活動方針・計画の件

(4) 2025～2026年度 クラブ会長活動方針・計画の件

(5) 議案審議

① 第1号議案 『六甲部部則の見直しについて』(提案者：柳 敏晴)

② 第2号議案

『六甲部の部則内容検討の委員会を設置して、

部会 事務局長 井高好貴（神戸西クラブ）

「ようこそ甦った神戸へ」と題し、「いのち」の大切さ、「伝え続ける、語り続ける重要性」をテーマとしました。YMCA と共に、「人々のために、地域で、世界で」活動をするワイズメンズクラブの基本は、健康、ウエルネス、ウエルビーイングだと考え、準備を進めました。2025年度 WHO 世界健康デー標語「健やかな始まり、希望ある未来へ！」を体感していただけたかと考えます。期せずして、YMI ワールドに、「BF & ウエルビーイングの育成」が挙げられており、1. 身体健康と運動能力、2. 精神への刺激と創造性、3. 社会的つながりとコミュニティ、4. 余暇と楽しみ、5. 異なる能力に合わせた活動の適応（ここに椅子を使ったエクササイズがあります）、6. 成功のためのヒント、そしてまとめに、『人生のあらゆる年齢や段階において、喜びを引き出し、つながりを育み、新たな目的意識を与えてくれる活動こそが、最高の活動です。楽しみながら、仲間意識を育てましょう。』とあります。

EMC シンポジウム

部会に先立って実施した EMC シンポジウムは、まさに上記の言葉を表す、久保田 EMC 主任の発題『クラブの魅力』と『メンバー満足度』を高めることが会員増強のカギ！！でした。会場の皆様と「V字回復」を共に唱和したのを忘れないで歩み続けたいと思います。

六甲部部会

バナーセレモニーが厳粛に行われ、六甲部7クラブが紹介されました。開会点鐘、ワイズソング斉唱、水野担当主事の祈祷の後、小澤昌甲神戸 YMCA 総主事、中井信一西日本区理事の来賓挨拶をいただき、柳が歓迎挨拶をしました。物故者哀悼の後、田上正アジア太平洋地域会長より、神戸クラブ美崎晋ワイズに、国際ブラスター賞 2024-2025 のメダルが授与され、六甲部としても、大きな喜びでした。

講演は、NPO 法人 I 億人元気協会会長、元神戸 YMCA 社会体育 専門学校講師、竹尾好恵

氏でした。「いつまでも健やかに自分らしく過ごす～チェアエクササイズ ㊦でフレイル予防～」と題し、具体的で解りやすい講演と実技でした。参加者の皆様は、気持ち良い身体活動で心も身体もほぐれ、笑顔があふれていました。クラブ例会の始まりに、チェアエクササイズを採り入れているクラブの様子が目に浮かびます。

準備から実施まで

1. 会場選び 神戸には、多くのホテルがありますが、コストパフォーマンスの良いホテルを神戸西クラブで探し、何度か交渉の末クラウンパレスホテルを選びました。全国から来ていただくために、神戸らしく、交通の便が良く、食事の美味しいホテルを探しました。井高事務局長がホテルとの交渉を一手に引き受け、実行まで大活躍でした

2. 参加者への呼びかけ 六甲部には、伝統的に強力な助っ人が多数います。助っ人の皆様の多大なご尽力で、120名の参加者に来ていただきました。特に今回、石田ワイズ（宝塚クラブ）の働きは特筆されます。六甲部の結集力です。

3. 実行 このホテル初めての人が多いと考えられるため、導線に立つ人、受付、ロビーでの対応等、六甲部各クラブの皆様に多大の協力をいただきました。感謝です。北島 EMC 主査は、シンポジウムを一手に引き受け、今迄で最多の参加者で、実り多いシンポジウムでした。神戸西クラブ員、そして、六甲部各クラブ会長をはじめとする皆様のお陰で、当初の「甦った神戸」を体感していただける2025六甲部会を開催することができました。ありがとうございました。今後も、六甲部全体のウエルビーイング発展のために、協力・協働体制を進めていきます。

### 部則検討委員会

第1回評議会で、六甲部部則改訂を部長より提案した。さらに、拡大役員会で、部則改定について、委員会を、井出浩、大田厚三郎、小野勅紘、井高好貴、柳敏晴で改訂を検討することになった。

文言の修正、重複を避ける、解り易くする、ガイドライン等は外に出し、規則としての体裁を整える等を基本に、柳が原案を作成した。

1月に第1回委員会を開催、原案作成を行い第2回評議会に提案した。手違いで、各クラブの意見収集ができなかったため、各クラブで検討いただいた案を基に第2回委員会で意見を集約し、改定案を作成した。2026-2027年度評議会に提案し、審議いただけるように進めている。纏めるにあたり井高事務局長の多大なご尽力あったことを添えます。

### 会計報告、監査報告

会計報告、監査報告については、次年度評議会で行う。

会計 加茂周治（神戸西クラブ）

監査 井出浩（神戸クラブ）

### 編集後記

部報を纏めるにあたり、部長所属クラブの全面的な協力なくしては、難しいと改めて考える機会となった。

ワイズメンズクラブ、YMCAは人が出合い、交わり、共に高め合う自発的な集まりであることを実感できている。昔がよいとは考えないが、人が訪れた時に温かく迎える体制が、各クラブ、各YMCAできているであろうか？殆どのクラブの例会に出席した。其々クラブ例会の持ち方はあると考えるが、出会う機会を与えられなかったクラブもある。原点に立ち返り、温かく迎えるY's活動を続けていきたい。

『、、みなのものが一つとなって、ワイズダムの“きづな”をより堅く結び、ともどもYMCA運動へ仕えることを願うものです。』

*The international Association of Y's Men's Clubs Japan West Region  
Rokkoku District 2025-2026*

*The international Association of Y's Men's Clubs Japan West Region  
Rokkoku District 2025-2026*



— Our Motto —

***“To acknowledge the duty that accompanies every right”***

「強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う」

発行 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区六甲部  
発行者 六甲部部长 柳敏晴  
発行日 2026年6月1日  
発行所 神戸市立たかとり児童館  
〒654-0037 神戸市須磨区行平町2-2-17  
電話 078-735-6230